

告のお申し込み・掲載に関するお問い合わせ先：広告第4部 案内・人材担当
5540-7773(受付時間：9:30AM~5:30PM(土日曜・祝休日除く)) 朝日求人ウェブ <http://www.asahi.com/job/>

朝日求人

仕事力

「人生を懸けて追いかける」
諏訪内 晶子が語る仕事

1 2 3 4

大海にこぎ出す前の遠回り

アイザック・スターンの
表現への教え

チャイコフスキー国際コン
クールで優勝した翌年1999
1年早春、私は名バイオリニ
ストのアイザック・スターン

に演奏を聴いてもらう幸運に
恵まれました。その時の曲目
はモーツァルトの「バイオリン

協奏曲第5番」とパッハのシャ
コンス。どちらも自信のある
レパートリーの一つでしたが、

スターン氏は「あなたは、なぜ
ここをこういうふうに弾くの
ですか」と、いくつも質問して

くるのです。答えられずにい
ると「教えてくれた先生が言っ
たから」と、そのまま従うのは
これから改めなくてはなりま
せん」と厳しく忠告してくだ
さいました。

音楽で生きていくには
何が必要なのか

優勝を手にした直後の私には、
音楽界から歓迎されそのまます
口の道へ進める環境がありまし
たが、スターン氏に会ってから、

できるだけ長く生涯を通してア
ロであるために、バイオリン以
外のことも学ばなくては続かな
いと理解しました。私はまだ

若いし、今しかできないこと
があるはずだと考えたのです。
バイオリンを学ぶ立場でいた
自分が、次は芸術という世界に

すわないあきこ ●バイオリニスト。東京都出身。1990年に史上
最年少18歳でチャイコフスキー国際コンクール優勝。桐朋学園
大学を経て、文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード
音楽院などで学び同音楽院修士課程修了。これまでにニューヨ
ーク・フィルハーモニック、ボストン交響楽団、ベルリン・フィルハー
モニ管弦楽団など数々のオーケストラと共演を重ね、指揮者で
は小澤征爾、ワレリー・ゲルギエフ、ピエール・ブレーズらと共演。
今年2月「国際音楽祭NIPPON」の企画、芸術監督を務めた。
最新ベストアルバムは「プレリューディオ」。使用楽器は、日本音楽
財団から貸与された1714年製作のストラディヴァリウス「ドルフィン」。

【全面広告】

第3種郵便物認可

京月

日

新

朝日求人は 26面~27面、28面 ●企画・制作 朝日新聞社広告局

求人広
告03

諏訪内 晶子



コンクールは、ある意味で
五輪競技に似ています。演奏
に対する基準があって、技術
的にできていなかったりミス
をしたりすると減点されてい
く。その中で参加者同士が競
い合うために正確さが重要で
した。

スターン氏は「作曲者の自筆
譜を研究して、自分なりの演
奏をしなくてはならない。し
かもそれを言葉で表現できな
くてはならない」と言いまし
た。問題を自分で考え、自分
の内部で消化し、解決策がき
ちんと自分のものになってい
なければならぬ。と、自分
でどう弾きたいのか、どう表
現したいのか。それは、いま
までの「学生」の生き方とは違
う「プロの音楽家」として生き
る姿勢です。衝撃でした。

また、毎日、新聞を開から
隅まで読み、世の中のことを
よく分かって行動するように
とも教わりました。音楽もい
踏み込まなくてはならない。そ
れは、大海に放り出されるよう
な気持ちです。芸術という大海
は一体どんなものなのか。バイ
オリンを正確に弾きこなす技術
以上に、何をどうすれば世界中
から認められるソリストに育つ
ことができるのか。その大きな
課題を抱いて、私は米国のジュ
リアード音楽院へ留学します。

校長先生は、音楽は総合的な
芸術であり、アカデミックな学
問も必要である、と、並行してコ
ロンビア大学で政治思想史など
を聴講する機会を与えてくださ
いました。バイオリンを演奏す
るために、広く学問を志す。プ
ロになるということは何と大
変なことなのでしょう。

ショービジネスの本場である
米国では、さらに、ステージで
身に着けるドレスの重要性や、
演奏以外に大切な表現について
も徹底しています。長くプロと
して生きるには多面的な学びが
必要なのだと思います。(談)